

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	被災者コミュニティ自立促進事業業務委託		
委託期間	平成28年5月27日 ~ 平成29年3月31日	担当課	観光商工部商工課
契約の相手方	株式会社まちづくり会津	契約締結日	平成28年5月27日

2 提案等の審査結果

審査日	提案書審査	平成28年5月25日	ヒアリング審査	平成28年5月25日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none"> 江川 忠 (会津若松市観光商工部) 羽金 與八 (会津若松市商店街連合会) 大波 秀和 (大熊町) 多田 一雄 (日本政策金融公庫) 			
審査方法	<p>選考委員4名が出席し、提案者2名からのプレゼンテーション(提案説明)及びヒアリング(質疑応答)により提案内容を確認した後、審査基準に基づいて各委員が個別に採点を行った。なお、選考委員の会津若松市商工会議所については、提案者との間に人的関係が判明したため、選考委員を辞退する申出があった。</p> <p>選考委員4名中、4名の委員が最高の評価点を付与した参加者を受託候補者として選定した。</p>			
選評	<p>○受託候補者：株式会社まちづくり会津</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業を良く理解し、今までの経験も反映させながら企画書が作られており、提案者の考え方も本市に深く根ざしたものとなっている。 総じて地に足がついた提案という印象。これまでの事業からの発展した何かを期待したい。 類似業務の実績が多い点は特に評価できる。 <p>B社</p> <ul style="list-style-type: none"> 創業支援、人材教育等に関する経験は特に評価できる。 高いレベルの企画提案であるが、求める人材の幅がかなり狭隘である。 新規雇用者の人材育成は期待できるが、コミュニティへの応用が不安である。 			

3 選考結果

参加者名	評価点						最高点採点者数又は合計点
	1:業務実施体制	2:類似業務の実績	3:業務の理解度・考え方	4:企画提案の内容	5:工程計画	6:コストの考え方	
株式会社 まちづくり会津	31	38	35	170	31	33	4人/4人中
B社	33	31	30	145	29	31	0人/4人中

※ 各参加者は受付順に記載しています。評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。